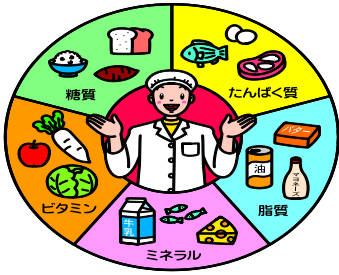


ことだったからでしょうか。

そこで、今度の介護予防について少しだけお話を。皆さんはどれくらいご存知ですか？ 来年四月から各自治体で実施されるものですが、介護が必要にならないように「元気な方はずっと元気で」ということで

す。そのために「栄養教室」や「転倒予防教室」のようなものが地域で頻繁に行なわれることとなります。

その中でお口の機能を維持するためのプログラムも行なわれることになるでしょう。



ただ、人間が元
気であるために

「その場しのぎ」
があるわけがあり
ません。若い時代
から不健康な生活
をした人が、数ヶ
月健康的なプログ

ラムを実践したとしても、人生や体質が大きく変わるわけがありません。本当の介護予防は、若い時からはじまっているものです。介護なんて自分にはまだまだ先のことと思わず、今から自分の健康管理、していきませんか？

不思議なこと

人間の身体は本当に不思議です。かれこれ十五年ほど歯医者の仕事をしていますが、教科書的な理論や科学的に考えても説明できないことつて多くあるんです。

実は、僕の左下の奥歯にはむし歯があります。手前の歯との境目にあるのですが、始めて発見されたのは二十年前のことです。それ以来、痛んだこともしみることもありませんでした。もちろん見た目にも変化

はありません。歯医者になったからといって特別な処置をしたこともありません。

なぜ、このむし歯は進行しないのでしょうか、逆になぜむし歯ができてしまったのでしょうか。二十年来の疑問です。

いろいろな技術が進むと何でも分かったような気になってしまいますが、単純なことでも分からないことはたくさんあります。何といっても「人工的にむし歯を作る」なんてことはできないですね。それこそ人権問題！

どうしても歯医者は、「むし歯ができていくから削ろう」という発想をしてしまうのですが、「なぜむし歯ができたのか」を考えるとまったく違う対応もできるのではないかと思えます。